

大証2部 6496



<http://www.nakakita-s.co.jp>

# 平成19年5月期中間決算説明会



株式会社 中北製作所

平成19年2月 9日 大阪

平成19年2月14日 東京

連絡先 (株)中北製作所経理部

TEL072-871-1339 FAX072-874-7501

E-mail [fin@nakakita-s.co.jp](mailto:fin@nakakita-s.co.jp)

- . 平成19年5月期中間決算実績
- . 平成19年5月期通期見通し
- . 事業内容と市場におけるポジショニング
- . 今後の戦略
- . コーポレートデータ



# . 平成19年5月中間決算実績

# 1. 概要

単位: 百万円(百万円以下切捨て)、%、円

	05/11	06/11	前年同期比		05/11 期初計画	期初計画比	
			増減	伸率		増減	伸率
売上高	8,939	10,679	1,740	19.5	9,350	1,329	14.2
営業利益	627	1,096	469	74.8	900	196	21.8
経常利益	660	1,128	468	70.9	900	228	25.3
中間純利益	384	598	214	55.7	520	78	15.0
一株当り中間純利益	21.2	33.0		28.6			
一株当り配当金	12.5	12.5		12.5			
総資産	19,798	20,468					
株主資本	13,023	13,533					

舶用を中心に売上伸長、増収効果により減価償却費負担、原材料価格の高騰を吸収、売上・利益共に期初計画を上回った

初のLNG船向け受注に成功するなど、過去最高水準の受注を獲得

## 2. 生産・受注・受注残の推移

生産 単位:百万円

	05/11	06/11	前年同期比	
			増減	伸率
自動調節弁	3,810	4,474	664	17.4
バタフライ弁	2,609	2,960	351	13.4
遠隔操作装置	2,468	3,125	657	26.6
生産高合計	8,887	10,559	1,672	18.8

受注高

	05/11	06/11	前年同期比	
			増減	伸率
自動調節弁	3,810	4,714	904	23.7
バタフライ弁	2,597	5,028	2,431	93.6
遠隔操作装置	2,987	3,979	992	33.2
受注高合計	9,395	13,720	4,325	46.0

受注残

	05/11	06/11	前年同期比	
			増減	伸率
自動調節弁	4,938	5,180	242	4.9
バタフライ弁	4,542	7,235	2,693	59.3
遠隔操作装置	5,727	6,597	870	15.2
受注残合計	15,207	19,012	3,805	25.0

**生産(前年同期比18.8%増)**

**遠隔操作装置が大幅増加**

**受注高(同46.0%増)**

**タンカー向けの増加を受けて**

**特にバタフライ弁が大幅増加**

**受注残(同25.0%増)**

**生産を上回る受注を獲得し、**

**受注残高は過去最高水準まで**

**増加**

### 3. 部門別売上高

単位: 百万円、%

	05/11	06/11	増減	伸率	構成比
自動調節弁	3,808	4,502	694	18.2	42.2
バタフライ弁	2,610	2,973	363	13.9	27.8
遠隔操作装置	2,459	3,143	684	27.8	29.4
不動産賃貸収入	62	62	0	0.0	0.6
売上高・営業収益	8,939	10,680	1,741	19.5	100.0

単位: 百万円、%

	05/11	構成比	06/11	増減	伸率	構成比
陸用	2,111	21.6	2,206	95	4.5	20.7
船用	6,767	77.7	8,411	1,644	24.3	78.8
その他	62	0.7	62	0	0.0	0.6
合計	8,939	100.0	10,680	1,741	19.5	100.0

## 4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	05/11	06/11	増減	伸率
国内	7,654	8,486	346	4.7
韓国	599	957	358	59.8
中国(香港)	597	1,116	519	86.9
台湾	25	25	0	0.0
その他	89	96	7	7.9
輸出	1,285	2,194	909	70.7
輸出比率	14.4	20.5		

韓国および中国のタンカー建造増加の影響で輸出が大幅増加



## 5. 損益計算書

単位:百万円、%

	05/11	06/11	増減	伸率	構成比
売上高	8,939	10,680	1,740	19.5	100.0
売上原価	7,535	8,723	1,188	15.8	81.7
売上総利益	1,404	1,956	552	39.3	18.3
販売費・一般管理費	776	860	84	10.8	8.1
営業利益	628	1,096	468	74.6	10.3
営業外損益	33	32	1	-	0.3
経常利益	661	1,128	468	70.8	10.6
特別損失	0	75	75	-	1
税引前中間純利益	661	1,053	393	59.5	9.9
法人税等	276	455	179	64.7	4.3
中間純利益	385	599	214	55.7	5.6

増収効果と前年の生産工程の乱れ(原価2億円)の一巡により、売上、利益、利益率共大幅な増加  
投資有価証券評価損75百万円を特損に計上



# 6. 貸借対照表

単位: 百万円

	06/5	06/11	増減	主要増減要因
流動資産合計	15,293	15,353	60	
現金・預金	2,397	2,304	93	
売上債権	8,517	9,228	711	売上増 (売上債権回転期間は改善 5.5ヶ月 5.2ヶ月)
棚卸資産	3,058	3,018	40	在庫回転期間改善 (2.0ヶ月 1.7ヶ月)
その他	1,321	803	518	運用債券満期償還
固定資産合計	4,906	5,115	209	
有形固定資産	2,590	2,805	215	設備投資
無形固定資産	10	15	5	
投資・その他資産	2,307	2,295	12	
資産合計	20,199	20,468	269	
流動負債合計	5,792	5,760	32	
支払手形・買掛金	3,018	2,975	43	
短期借入金	1,770	1,770	0	
その他	1,004	1,015	11	
固定負債合計	1,056	955	101	退職給付引当金減
負債合計	6,847	6,715	132	
資本合計	13,352	13,753	401	
負債・資本合計	20,199	20,468	269	



# . 平成19年5月期通期見通し

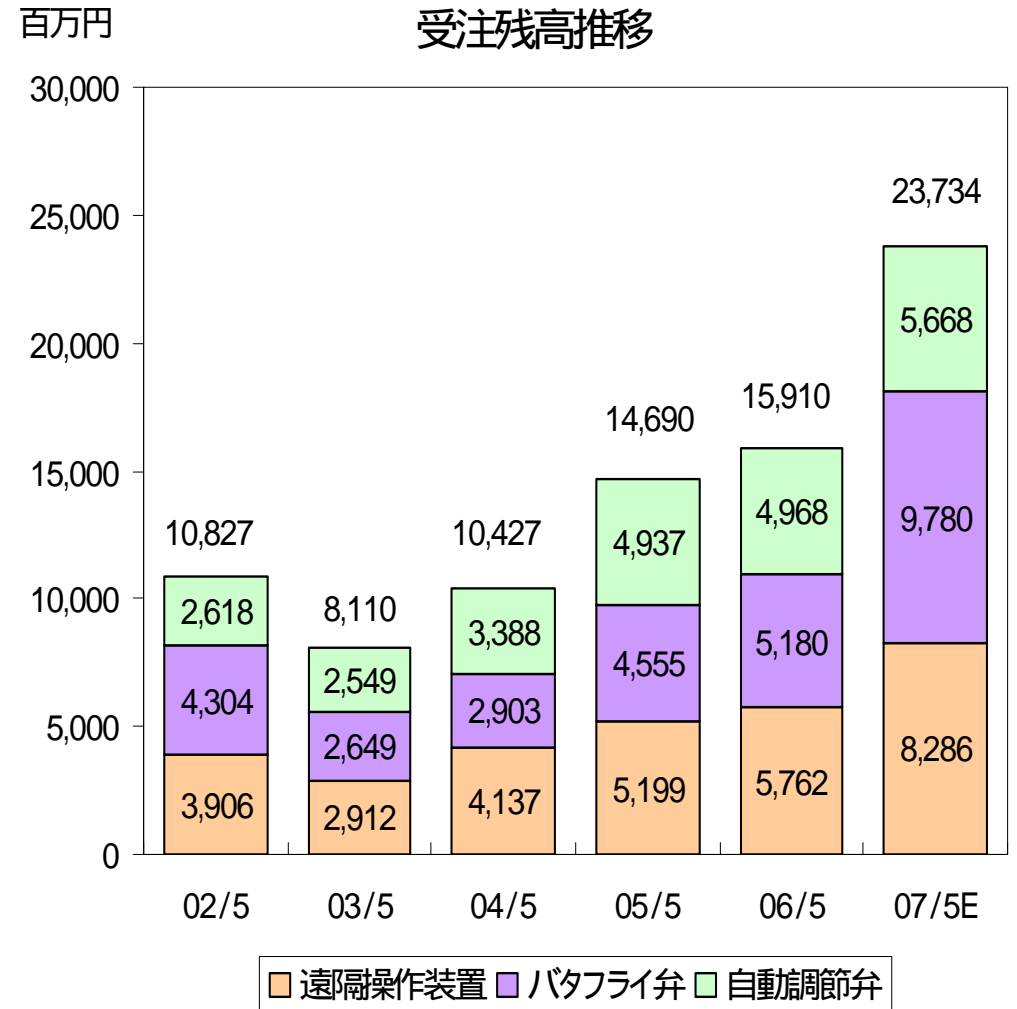
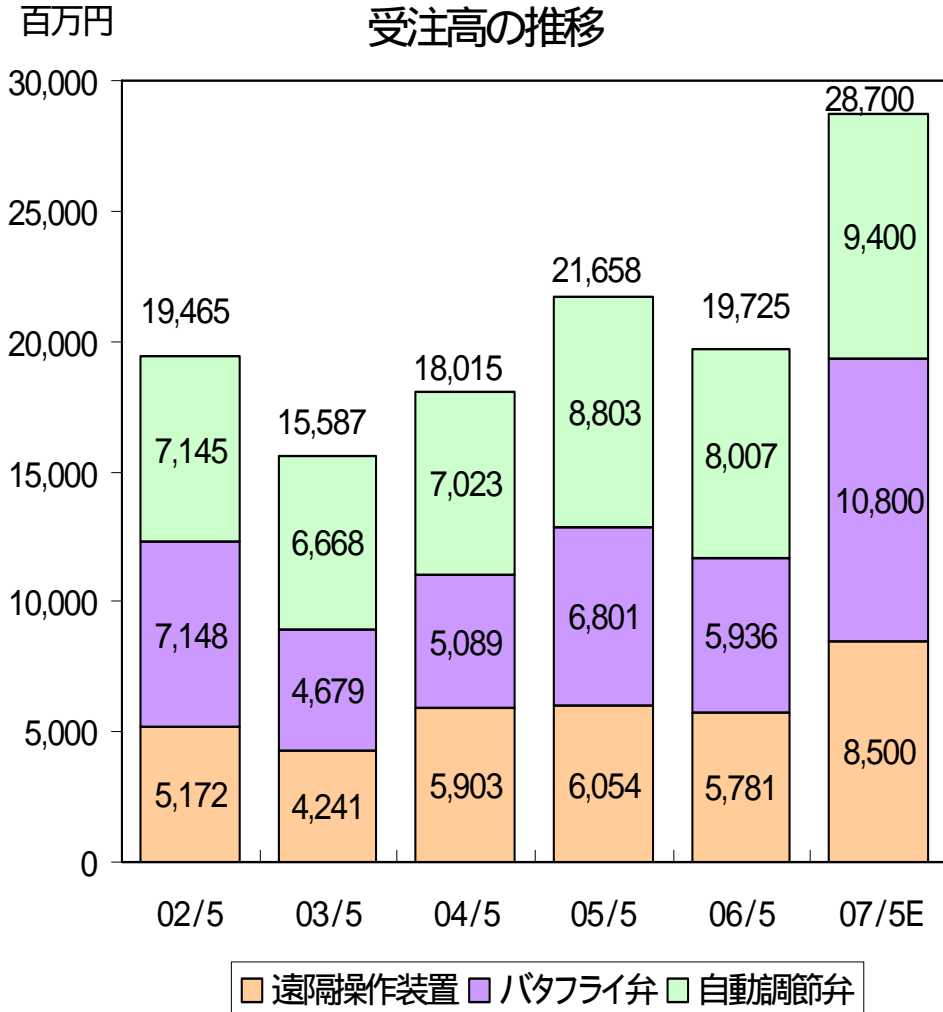
# 1. 概要

単位：百万円(百万円以下切捨て)、%、円

	06/5	07/5E	前年同期比		期初計画
			増減	伸率	
売上高	18,629	21,000	2,371	12.7	19,000
営業利益	1,567	2,200	633	40.4	1,900
経常利益	1,589	2,230	641	40.3	1,900
当期純利益	927	1,250	323	34.8	1,100
一株当り利益	51.1		68.8		60.6
一株当り配当金	25.0		25.0		25.0

足元の受注動向から下期も業績は順調に推移する見通しであり、売上・利益共  
 期初計画を増額修正

## 2. 受注・受注残の見通し



**タンカーを中心とした旺盛な造船需要を背景に、受注見通しは期初計画210億円から287億円へ大幅増額**



### 3. 損益計算書

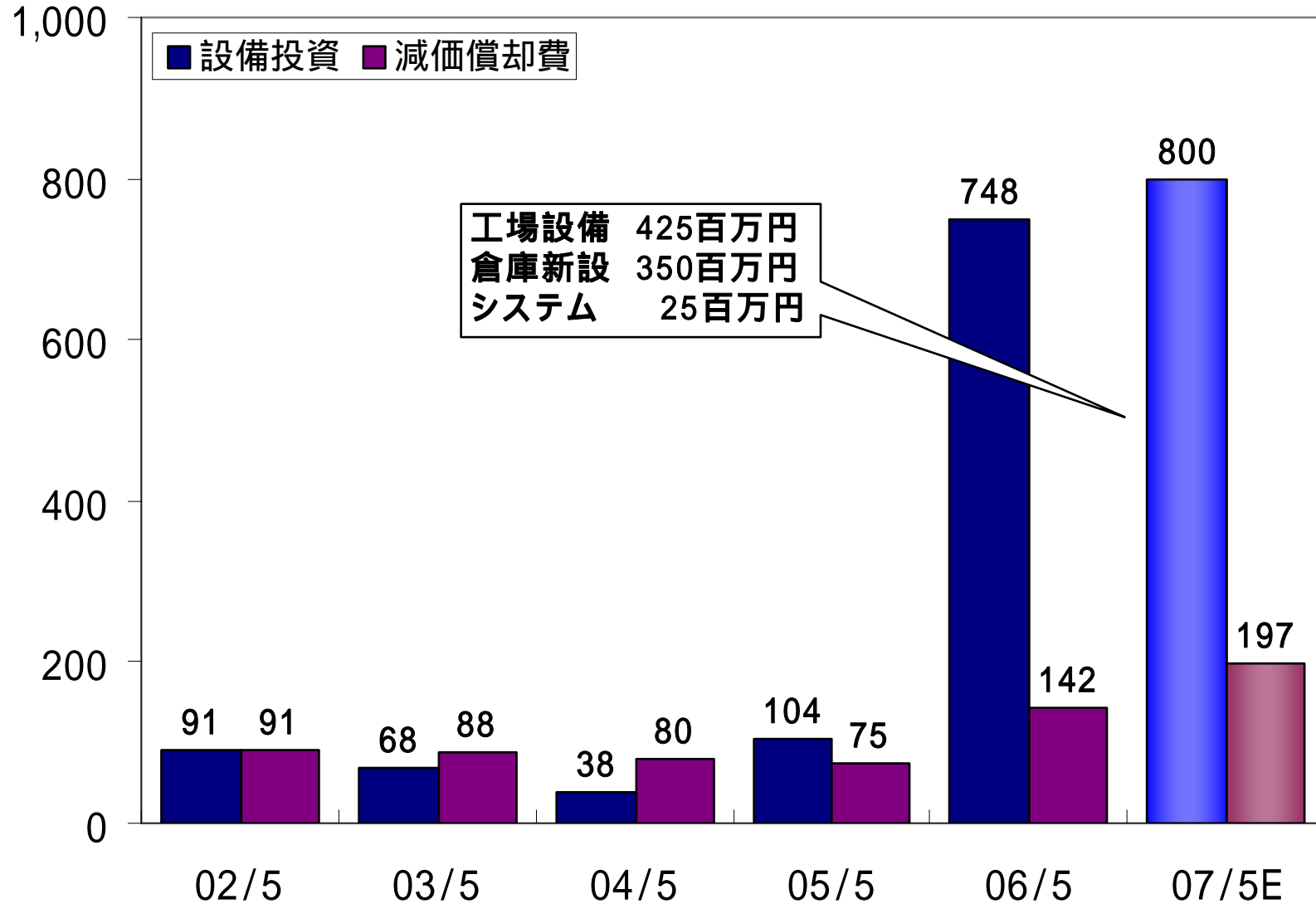
単位:百万円、%

	06/5	構成比	07/5E	増減	伸率	構成比	期初計画
売上高	18,629	100.0	21,000	2,371	12.7	100.0	19,000
自動調節弁	7,976	42.8	8,700	724	9.1	41.4	8,150
バタフライ弁	5,311	28.5	6,200	889	16.7	29.5	5,600
遠隔操作装置	5,218	28.0	5,976	758	14.5	28.5	5,150
不動産賃貸収入	124	0.7	124	0	0.0	0.6	100
売上原価	15,434	82.8	17,100	1,666	10.8	81.4	15,440
売上総利益	3,195	17.2	3,900	705	22.1	18.6	3,560
販売費・一般管理費	1,627	8.7	1,700	73	4.5	8.1	1,660
営業利益	1,568	8.4	2,200	632	40.3	10.5	1,900
営業外損益	21	0.1	30	9	-	0.1	0
経常利益	1,589	8.5	2,230	641	40.3	10.6	1,900
特別損失	0	0.0	75	75	-	0	0
税引前当期純利益	1,589	8.5	2,155	566	35.6	10.3	1,900
法人税等	662	3.6	905	243	36.7	4.3	800
当期純利益	927	5.0	1,250	323	34.8	6.0	1,100

今'07/5期計画は期初計画に対し売上を20億円、経常利益を228百万円増額  
 値戻しが資材価格の高騰をカバーしきれず、売上総利益率は期初計画比ほぼ横ばいの  
 18.6%を見込む  
 一方、販管費を抑制し売上高営業利益率は期初計画比 + 0.5ポイントの10.5%を見込む

# 4. 設備投資と減価償却費

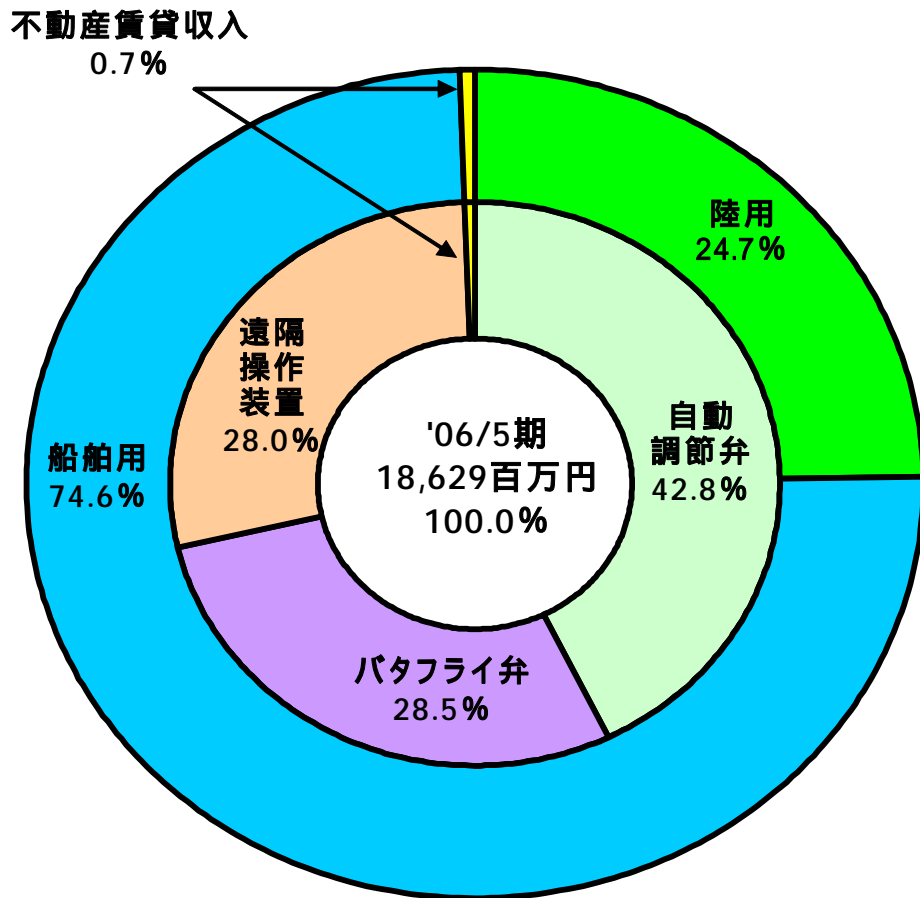
百万円





# ・事業内容と市場におけるポジショニング

# 1. 品種別用途



品種別用途

陸船別	用途		品種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船舶	カーゴライン	タンカー			
	バラストライン	全船種			
	機関室	全船種			
陸用	発電プラント	火力発電 原子力発電 ガスタービン発電			
	製鉄プラント				
	造水プラント				
	その他				



## 2. 世界的な競合と差別化策

バタフライ弁、遠隔操作装置、機関室用調節弁を一括製造している唯一のメーカー  
品質の信頼性ときめ細かなアフタサービス体制

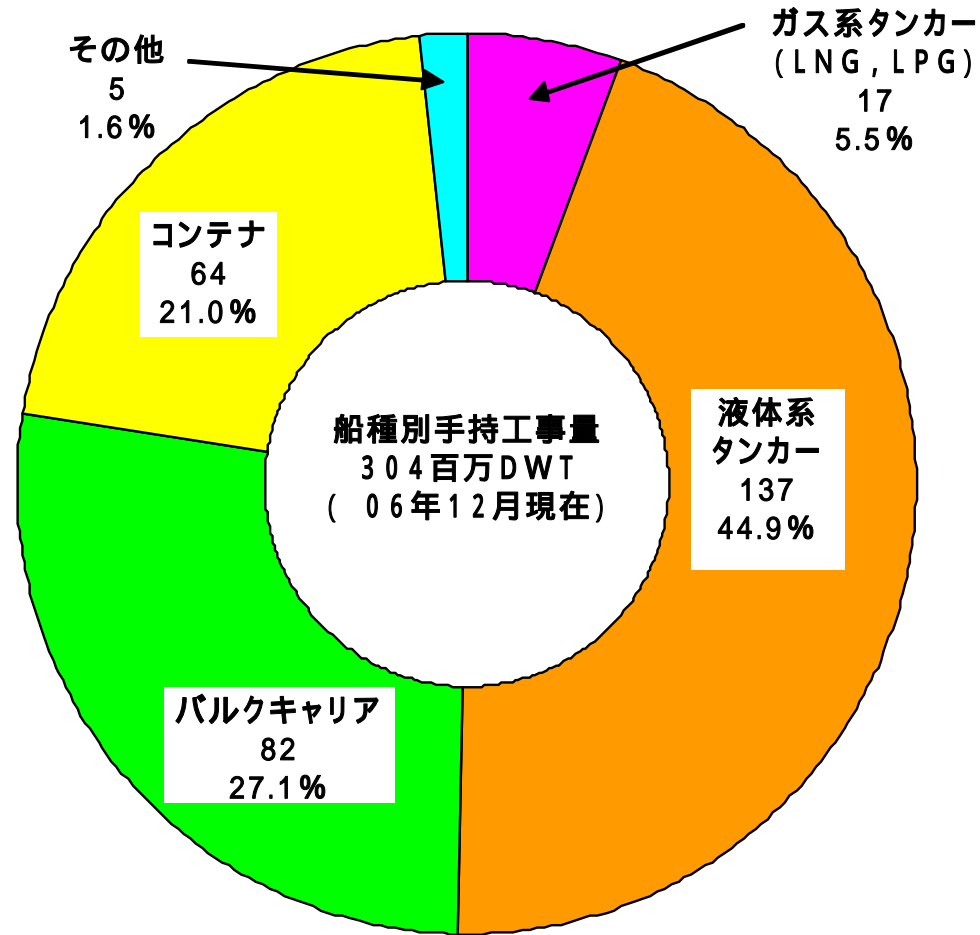
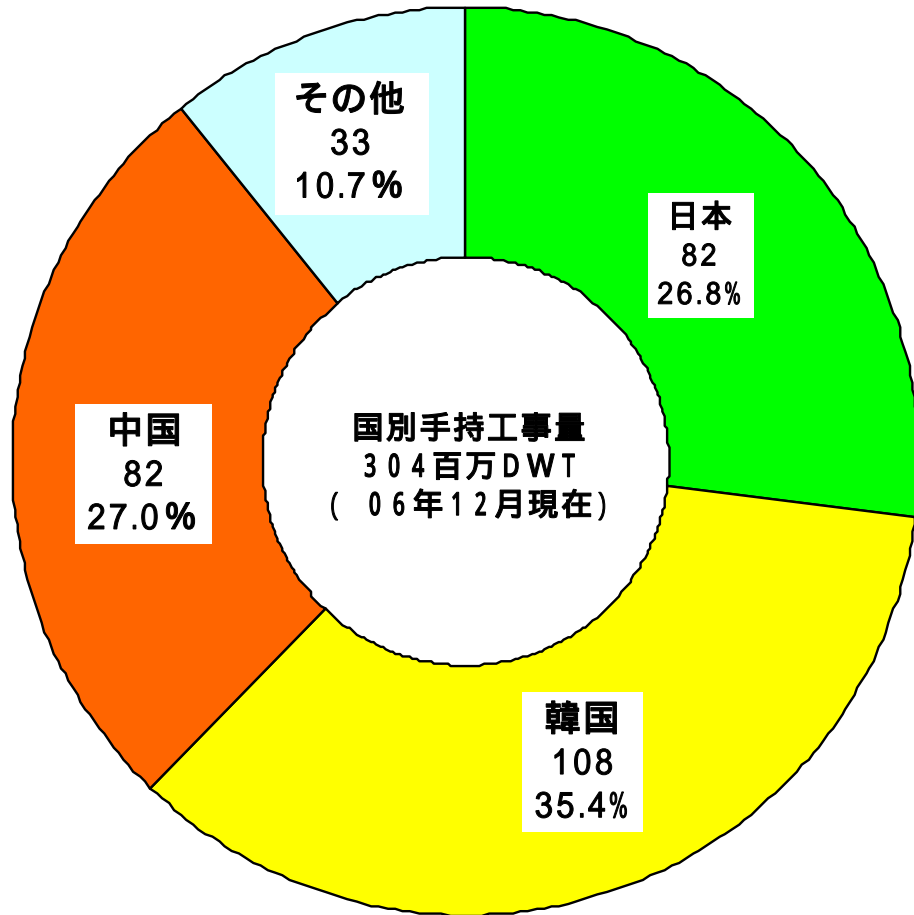
質・量ともに客先の注文に応えうる生産体制

船主の細かい注文にも対応

	当社	アムリー	ダンフォス	キーストン	アモット
	日本	フランス	デンマーク/ 韓国	韓国	イギリス
遠隔操作装置					
バタフライ弁 (カーゴ/バラスト)					
自動調節弁					
LNGバタフライ弁					

# 3.市場環境

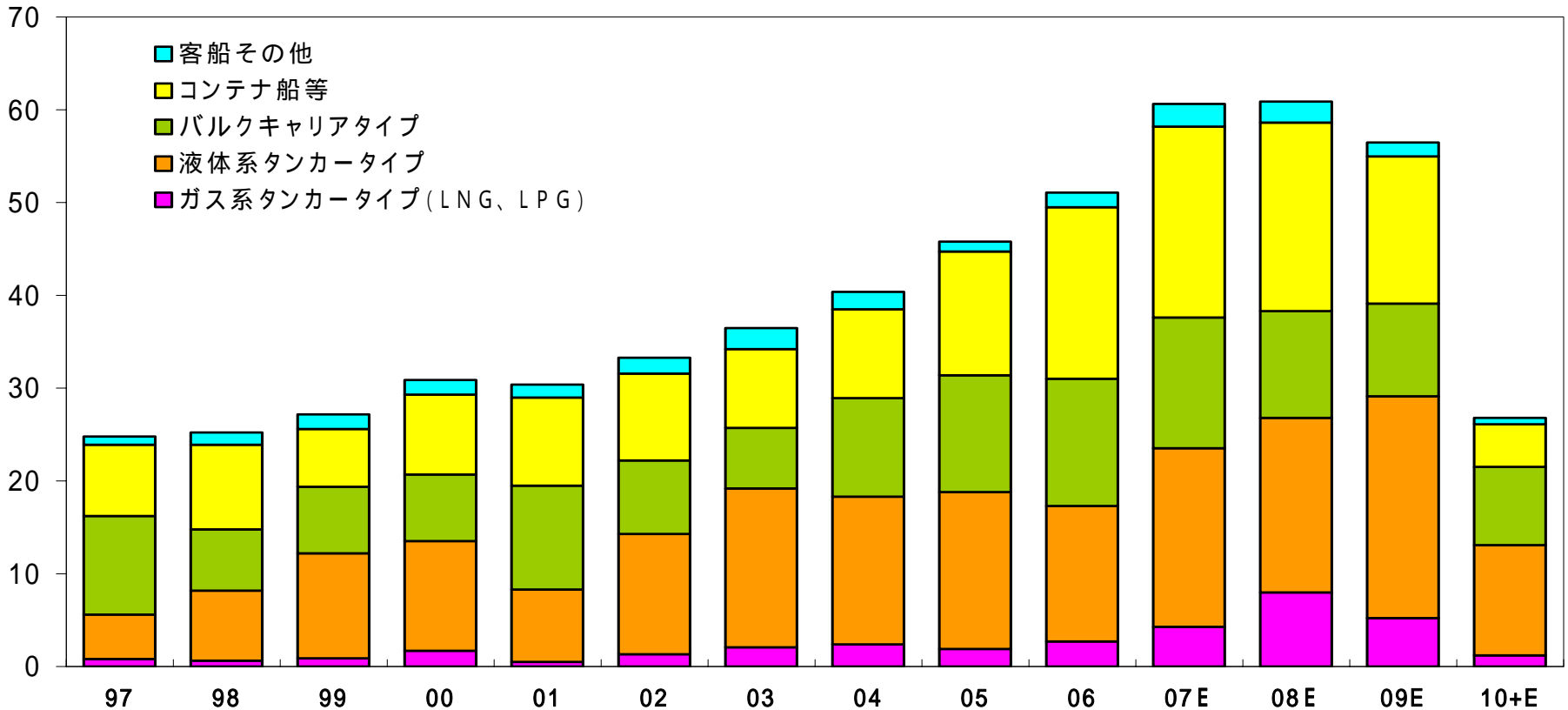
## (1) 船用分野～国別・船種別手持工事量



### 3 - (2) 船用分野 ~ 納期別・船種別手持工事量 (06年12月現在)

新造船需要は昨年タンカーを中心に大幅に伸びており  
2009年～2010年までLNG船と共に堅調が見込まれる

単位：百万総トン



出所：clarkson research services World Shipyard Monitor



# ・ 今後の戦略

# 1. 今後の戦略と課題

## 地球環境を考える中北

クリーンエネルギー(LNG)化への対応

ガスタービン発電への対応

バラストライン用バタフライ弁の電動アクチュエータ化

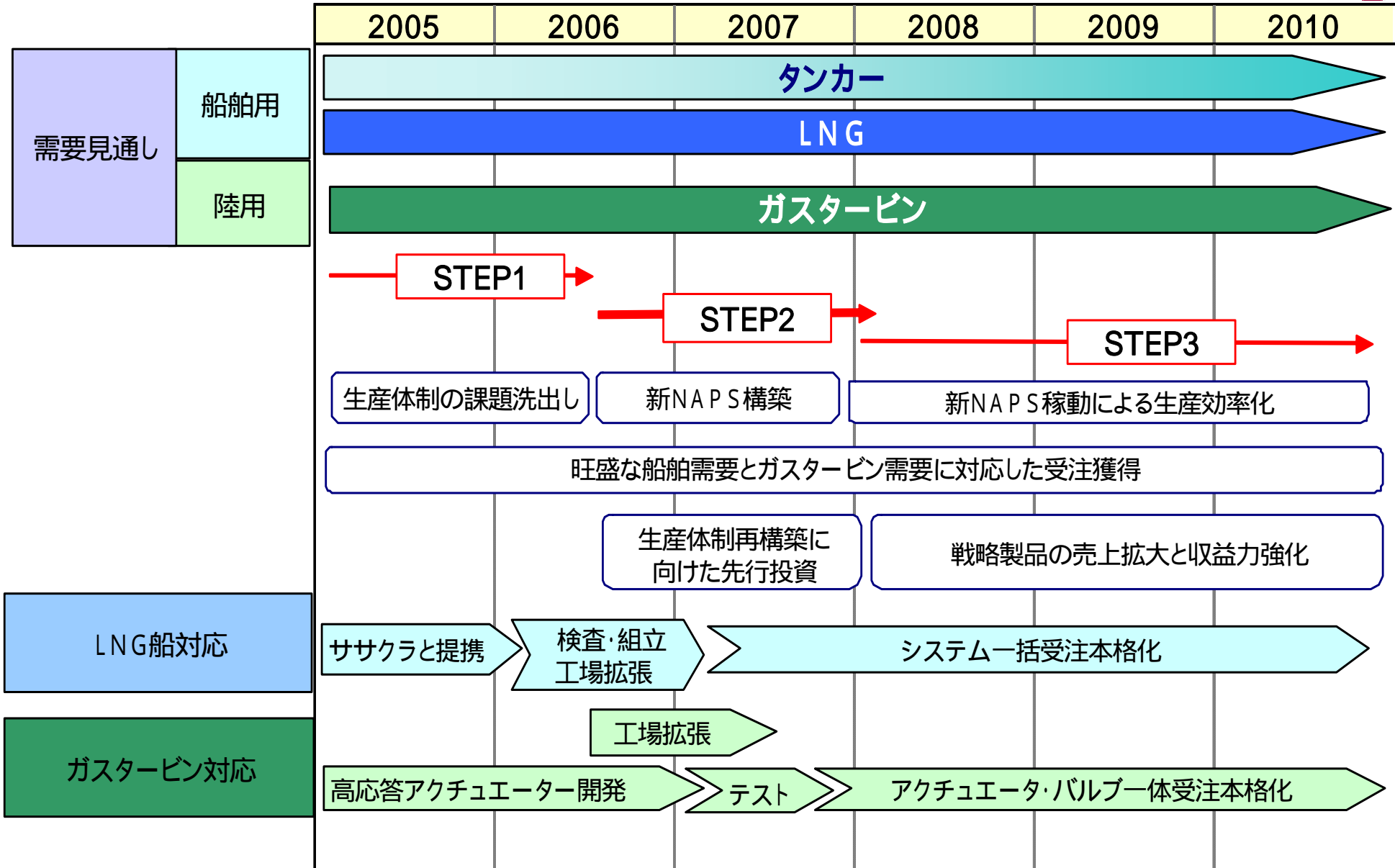
中期的な受注伸長に合わせた生産効率化と信頼される  
高品質なもの作りを目指す！

技術の標準化

生産管理新システム構築



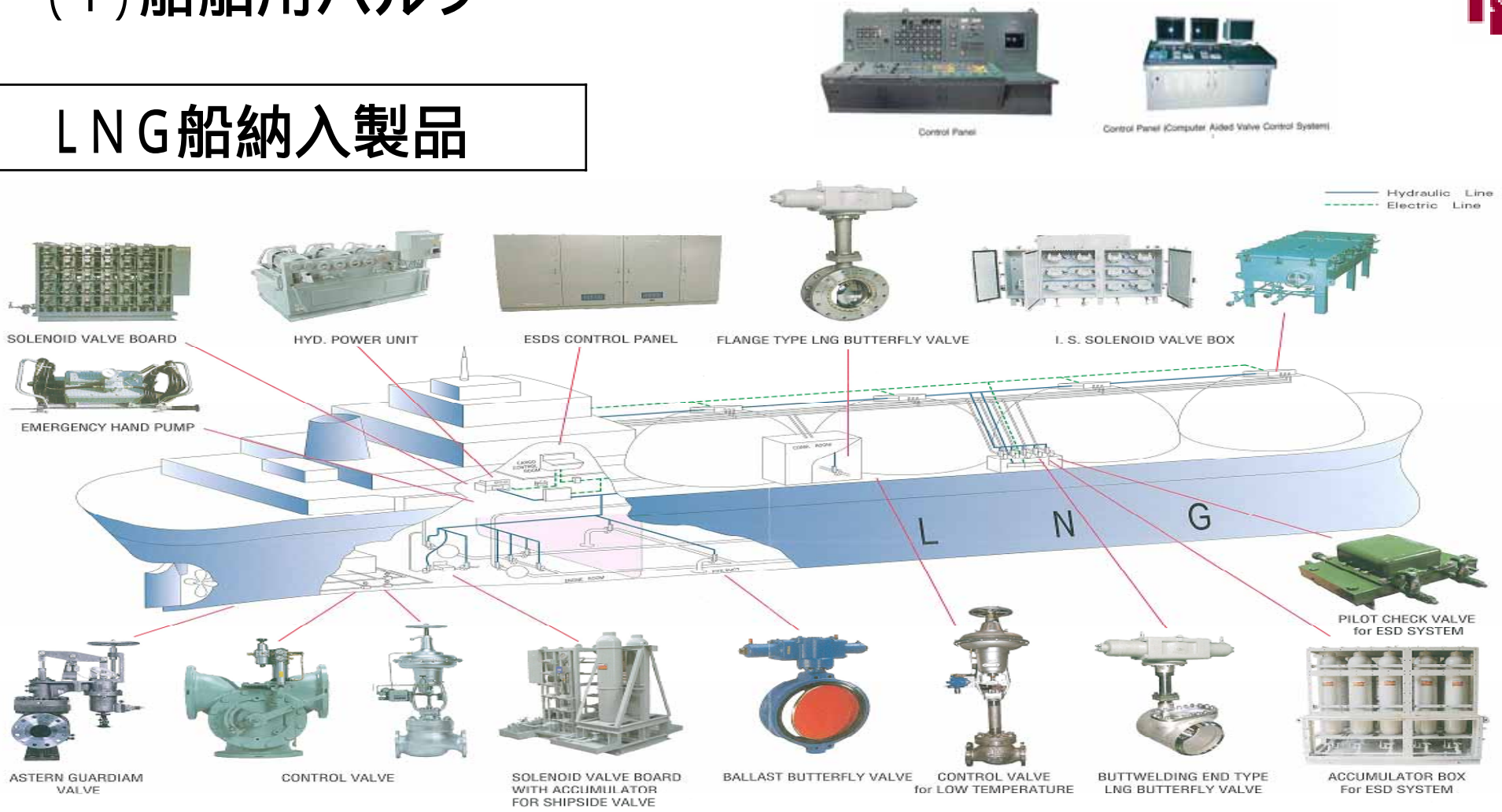
# 2. 今後の展開





# 3 - (1) 船舶用バルブ

## LNG船納入製品



バラストラインやタンカーのカーゴラインに、バタフライ弁及びそれらの開閉をコントロールする遠隔操作装置や液面計等の計器類を一体のシステムとして納入している。

機関室回りでは、燃料供給ラインや冷却水供給ラインに自動調節弁を納入している。

### 3 - (2) LNG船用バルブ

2005年8月、LNG船に搭載される超低温バタフライ弁の製造販売について株式会社ササクラと提携

#### 背景:

エネルギーのLNG化を背景としたLNG船需要の増加  
品揃えに加えることにより、当社は全船種のカーゴラインに対して  
システム販売が出来る体制となる

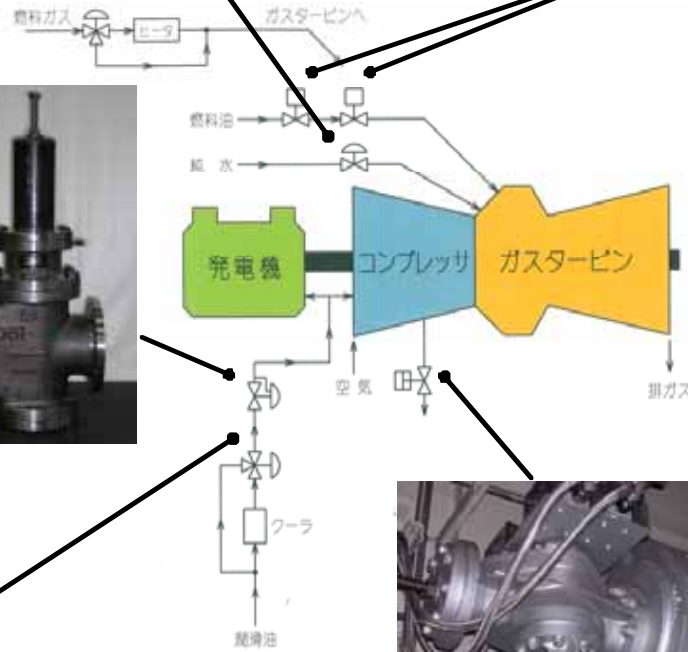
#### 今後について:

高付加価値製品であり、LNG船1隻あたりの売上は約3億円  
2007年秋、2008年夏納期各1隻の受注獲得済み  
更に4隻商談中  
2010年頃には年間10隻程度の売上げを見込む



# 4 - (1) ガスタービン用バルブ

燃料供給系統、  
潤滑油供給系統、  
その他に  
自動調節弁を  
納入している



## 4 - (2) ガスタービン用バルブ

ガスタービン用燃料制御弁の高応答アクチュエーターの  
販売に向けて

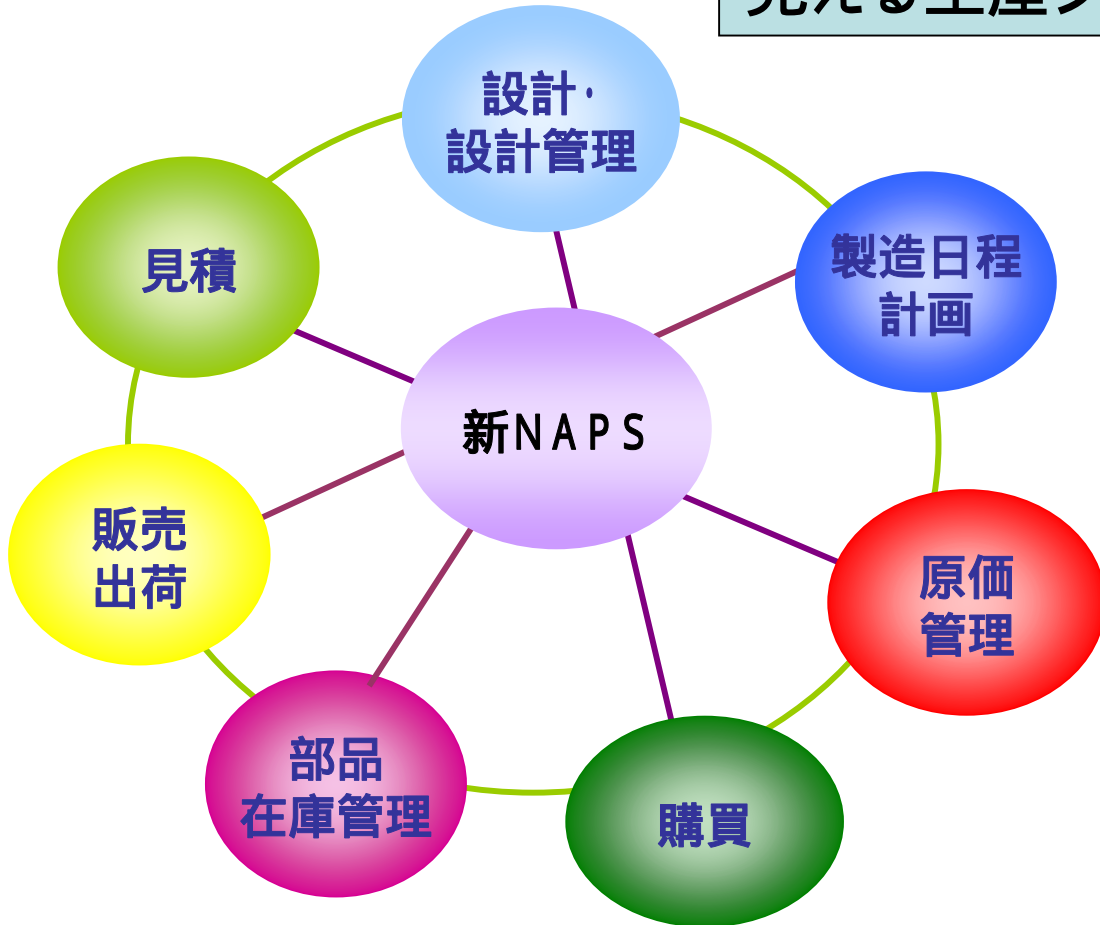
2007年春テスト開始

2007年秋テスト終了、結果評価

結果よければ2007年秋以降受注、2008年5月期下期より売上  
寄与の見込み

# 5.生産管理新システム(新NAPS)の概要

見える生産システムの再構築



製造番号単位の  
生産管理

短納期化！

仕掛在庫  
3億円削減！

生産効率  
30%UP！

## 6 - (1)まとめ

【1】造船需要は向こう4,5年は好調が予想され、1974年の一時的ブームとは様相を異にする。

振幅の大きな業界であることを考慮し、設備投資は慎重を期しながらも前向きに検討。

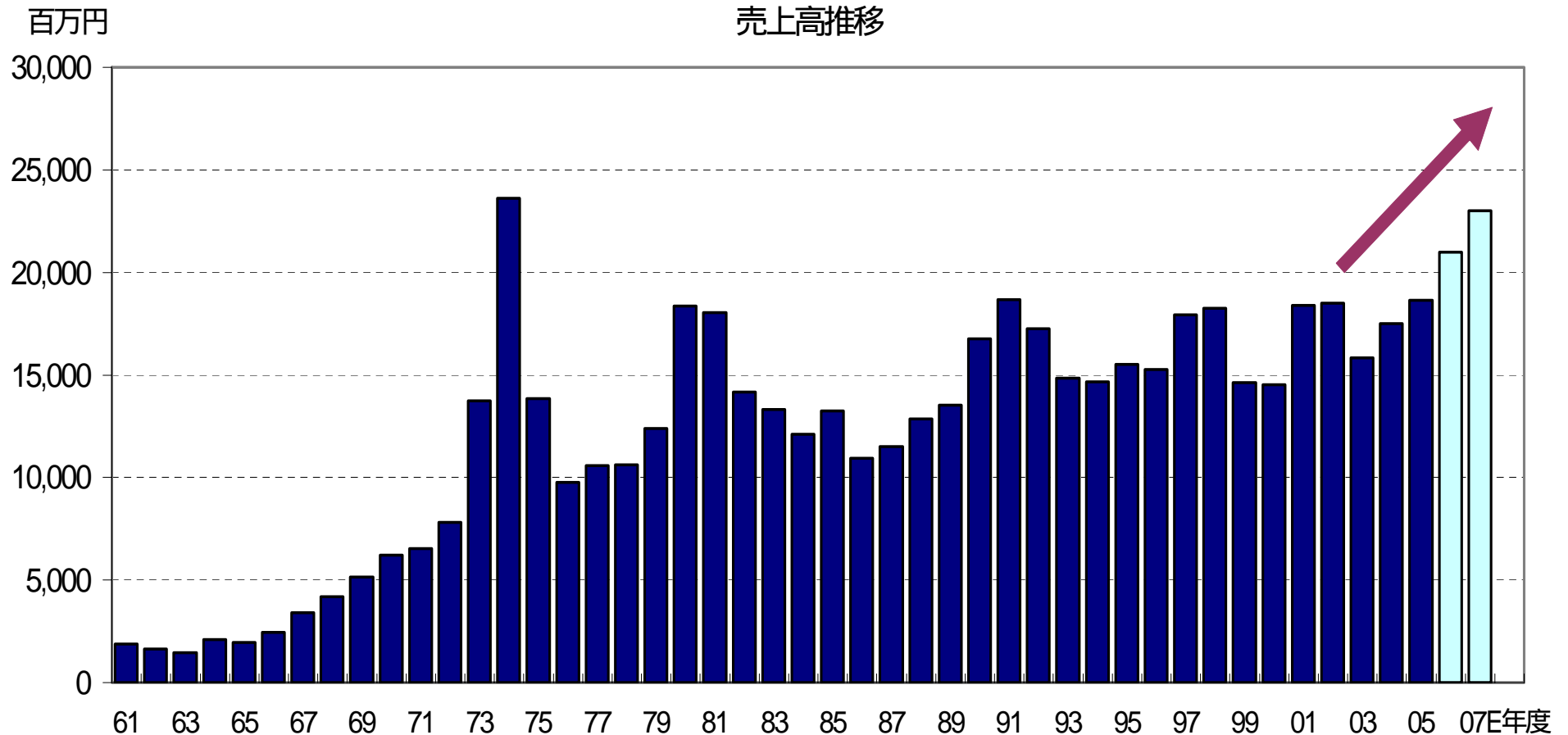
【2】現状の受注状況を着実にこなすことで投資負担の吸収は可能と予想

【3】2007年12月より新NAPSが稼働を予定しており、今後は生産効率改善が期待される。

システムがフル稼働する2009年5月期以降は増産効果と共に収益性改善効果が期待できる。

# 6 - (2) まとめ

バルブ(ハード)を中心とした自動制御(ソフト)システムメーカーへ  
さらなる飛躍を目指す





# . コーポレート・データ



単位：百万円、%、円

	02/5	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5E
売上高	18,406	18,494	15,838	17,518	18,629	21,000
営業利益	1,680	1,803	1,126	1,658	1,568	2,200
営業利益率	9.1	9.7	7.1	9.5	8.4	10.5
経常利益	1,720	1,818	1,127	1,651	1,589	2,230
経常利益率	9.3	9.8	7.1	9.4	8.5	10.6
当期利益	879	915	575	916	927	1,250
当期利益率	4.8	4.9	3.6	5.2	5.0	6.0
総資産	18,707	18,988	19,211	20,101	20,199	
株主資本	11,646	12,340	12,356	12,967	13,161	
株主資本比率	62.3	65.0	64.3	64.5	65.2	
株主資本利益率	7.6	7.4	4.7	7.1	7.0	
1株当たり利益	42.7	45.3	28.6	47.6	51.1	68.9
1株当たり配当金	9.0	10.0	14.0	25.0	25.0	25.0



単位：百万円

陸船別売上	02/5	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5E
陸用売上	4,547	3,622	3,296	3,808	4,609	4,776
船用売上	13,659	14,682	12,401	13,587	13,896	16,100
その他	200	190	140	124	124	124
合計	18,406	18,494	15,838	17,518	18,629	21,000

品種別売上	02/5	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5E
自動調節弁	7,756	6,736	6,185	7,253	7,976	8,700
バタフライ弁	5,698	6,333	4,835	5,149	5,311	6,200
遠隔操作装置	4,752	5,235	4,678	4,992	5,219	5,976
その他	200	190	140	124	124	124
合計	18,406	18,494	15,838	17,518	18,629	21,000

生産	02/5	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5E
自動調節弁	7,814	6,583	6,193	7,317	8,011	8,700
バタフライ弁	5,750	6,198	4,844	5,189	5,339	6,200
遠隔操作装置	4,786	5,110	4,683	5,039	5,254	6,000
合計	18,350	17,891	15,721	17,545	18,604	20,900

受注	02/5	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5E
自動調節弁	7,145	6,668	7,023	8,803	8,007	9,400
バタフライ弁	7,148	4,679	5,089	6,801	5,936	10,800
遠隔操作装置	5,172	4,241	5,903	6,054	5,781	8,500
合計	19,465	15,587	18,015	21,658	19,725	28,700

受注残	02/5	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5E
自動調節弁	2,618	2,549	3,388	4,937	4,968	5,668
バタフライ弁	4,304	2,649	2,903	4,555	5,180	9,780
遠隔操作装置	3,906	2,912	4,137	5,199	5,762	8,286
合計	10,827	8,110	10,427	14,690	15,910	23,734